

<紹介> 島根県テニス協会:特別支援学級学童クラブ「ゆうゆう」との交流事業

- 1 日時 平成28年8月23日(火)10:30~11:30
※今回は第2回として実施 第1回は8月17日(水)実施
- 2 会場 松江市立母衣小学校体育館
- 3 参加者 ・島根県テニス協会スタッフ 9名
・特別支援夏休み学童クラブ「ゆうゆう」
児童他23人(母衣小11人、中央小7人、古志原小3人、OB2人)
スタッフ18人 計50人
- 4 内容 PLAY+STAYプログラム
ボールに慣れよう→ラケットを使おう

・児童の障がいの特性、程度に応じた場の工夫、教材教具の工夫がなされている。
・その時々の子どもの状況に合わせて、テニス協会のスタッフを中心に個々に支援を行っている。



生き生きとした表情
テニスの面白さ

体を動かすことの心地よさ
基礎的な動きの獲得



導入の的当て



網でキャッチ



風船を使ったラリー



ラリー

テニス協会としては、今後こういったプログラムなどを他の団体とコラボしてやりたいです。

テニス協会事務局の声

活動する上での場づくりや教材教具の工夫、指導者の役割分担や子どもへの支援、声かけの仕方など、テニス協会の取組を他の団体に知ってもらふこと、知ってもらふ機会を設けることが必要ではないかと思いました。